

2011.2.20 堅信式

四旬節

主任司祭 B・ノヴァク

例年と同じように、私たちは灰の式をもつて、四旬節を始めます。この式は、人間について大事な事実を表します。先ず、人間は神の命と神の愛によって生かされなければ、灰のようなものであるということなのです。それから、ブドウの木と繋がっている枝が実を結びますが、繋がっていない枝は実を結ぶことができないだけでなく、火に投げ捨てられ、焼かれて、灰になってしましますように、私たちも、愛によってキリストと繋がっている時だけ、豊かに生き、他の人に神の命と神の愛を伝えることができますが、愛が消えたら、何も照らすことのできない、誰も温めることのできない灰のようになってしまいうということなのです。

四旬節は、私たちの父である神の愛を現したキリストの受難と十字架上の死を黙想する期間です。それは、神の愛をもっと強く実感するように、この愛に自分の心を一層広く開け、一層豊かに満たされるためなのです。四旬節は、愛の実践、断食、犠牲の期間でもあります。それは、自分が受け入れた愛を他の人と分かち合うことよって、この愛を発展させるためなのです。

四旬節を通して心を整え、イエスの死と復活、つまり過ぎ越しの神秘を祝うことよって、キリストに対する私たちの愛が一層強く燃えるようになりますように、そして私たちは、一層忠実にキリストに従って生きることができるよう祈りたいと思います。

平日のミサ時刻:

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
聖体礼拝: 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻:

土曜日 午後2時30分
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(at the Maria Kan Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日午後3時30分

受堅信おめでとうございます

2011年2月20日

アシジのフランシスコ	新内 安士
ヨゼフ・マリオ	内藤 寛
ミカエル	西尾 隆弘
フィリップ	芳賀 勇
サムソン	横山 循
ミカエラ	鐘ヶ江 実佳
マリア	川原 マリア
小さき花のテレーズ	小久保 千裕
セシリア	崔 仁蕙
ガブリエラ	堀田 ゆり
セシリア	三谷 清香
アーノルド	上野山 和成
ベルナデッタ	柴田 由美子
マリア・テレサ	菅原 美智子
ヨハネ・セバスチャン	田村 慧
マリア・テレジア	田村 啓子
イザヤ	南館 欣也
ヘレナ	南館 敬子
フランシスカ	朴 玉花
マリア・ベルナデッタ	原 幸世
ラファエラ	平山 祐里子
マリア・グラツィア	松原 由美子
ミカエラ	横地 麻代



堅信式で説教された野村司教様

堅信の秘跡を受けて

ミカエラ 鐘ヶ江 実佳

堅信の勉強で一番印象に残っているのは、十二月にあつた一泊の黙想会です。皆と一緒に泊まつた、聖霊修道院を訪ねたのが楽しかったです。修道院のシスターにカードをお渡しして少しおしゃべりをしました。

堅信式の時、その時シスター方が来てくださったのが見えて、嬉しかったです。

「四人目の賢者」というビデオを観ました。イエス様が、「他人のしたことは私にしたことと同じです。」と話されたのが心に残りました。

私も周りの人を大切にしてイエス様を喜ばせたいです。

堅信式を終えて

小さき花のテレーズ 小久保千裕

私は2月20日に堅信の秘跡を受けました。

最初は、勉強するのはめんどくさいなあ。堅信式には絶対出ないかなあ、と思っていました。

しかし、堅信の勉強を重ねていくにつれキリスト信者としてのことや、神様についてのことなどを学ぶのが、少しずつ楽しくなってきました。大変そうだなあと思っていた一泊黙想会も楽しい思い出となりました。

今では、堅信の秘跡をうけてよかった、と思えるようになりました。これからは、キリスト信者として神さまから与えられた命を大切にしようと思います。

堅信に向けて

ヨゼフ・マリオ 内藤 寛

ぼくが、一番心に残ったことは、小川さんがやった『命』のことについてです。

一つ目は、第二次世界大戦では、どのようなことがあったのかを話していました。ぼくが教科書で読んだ『ベンチ』という話です。ぼく

はその話を聞いたのでいろいろな分かったことや心に残ったことをいろいろ話してあげたのでぼくはそういうことができたのでよかったです。この話は、ドイツ人とユダヤ人が一しょに合つてユダヤ人が収容所へつれさられて、働かせたり、せまい所で寝たりしたり、毒ガスを吸って苦しんでいる人がいたという話でした。その話を聞いたので心に残りました。もつともつといろいろなことを勉強したいです。

堅信の秘跡を受けて

マリア・ベルナデッタ 原 幸世

昨年の桜満開の季節に洗礼を受け、神様の祝福とお恵みを頂きました。

そしてこのたび、神様のお導きのもと、南山教会の皆様方が見守って下さるなかで、堅信の恵みを授かることが出来ました。

堅信式当日は、多くの方々から祝福のお言葉をいただき、感謝と喜びでいっぱいです。

この良き日を生涯忘れず、神様の存在をいつも感じながら、主イエス・キリストが示して下さった信仰と希望と愛の道を、しっかりと歩み続けることが出来るよう努めてまいりたいと思っております。

私の堅信に際しまして、いろいろとお世話になりました神父様、先輩信者の皆様方、本当にどうもありがとうございます。
まだまだ未熟な私ですが、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

堅信を受けて

ミカエル 西尾 隆広

堅信と言われても、初めはどういうものかはつきりしませんでした。堅信の勉強をしていく度にだんだん堅信のことがわかっていきました。

前日までは堅信式のことばかり考えて不安でしたが堅信式当日になると気持ちも落ち着いて良い状態で堅信式をむかえることができました。

堅信式で司教様に聖霊を受けてぼくはキリスト教としての大人になったんだなと思いました。

教会共同体の一員としてこれからも祈りつづけていきたいです。

ぼくはこの文を書く時になにを書けばいいかと思いましたが少し考えたら思ったことをスラスラ書く事が出来ました。

堅信式によってぼくはまた一段と信仰を深める事ができたと感じました。



パーティーで歌う中高生



堅信をお祝いするパーティー

第11回運営委員会議事

2011年3月6日

司祭団より

来年度行事予定表の点検をお願いしたい。

4月より助任司祭として、アントニ・ビ・アンニン神父が任命されました。

大聖堂控え室の鍵を聖堂内から開けられるようにするとともに小聖堂周辺の鍵を同一のものにする。予算は5万8千円。

報告事項

1 世界祈禱日

3月4日(金) 栄の日本キリスト教団中央教会にて実施された。

11時からの礼拝に260名が参加。

カトリックからは67名の参加。

会の中で「チリからのメッセージ」を受け取った。チリ地震の影響は今も残っていて、復興途中。援助が必要。

牧師さんからは、「あなたはいくつパンを持っていますか」というテーマでお話があった。

来年は、聖公会が担当。

2 次年度各会委員氏名の確認

新委員の確認を行った。名簿は4月号の月報に載せる。

新委員は4月3日9時半ミサ後に紹介と挨拶を行う

3 堅信式とパーティーの報告

2月20日に23名が、野村司教様の司式で堅信の秘跡を受けた。

中高生父母会の主催でパーティーが行われ、大勢の参加があった。盛大なパーティーとなった。

4 城東ブロック理事選出

男性は松浦典文さん、女性は、成井尋江さんが選出された。

信徒協の新会長は浜野房江さん(東山教会)。

審議事項

1 教区年間テーマに基づく南山教会の取り組みについて

既にいたっている一案や各委員が持ち寄ったアイデアに沿って検討した結果、試みとして、何回かミサ後に神父様との茶話会を設定してみることもなった。

検討の中で出た主な意見は以下のとおり。

司教様年頭書簡の趣旨の一つは、司祭の養成であると読みとれたので、神父様がどういうきっかけで司祭となったのかインタビュー形式で伺う機会があってもよいと思われる。

福音がどう生活に生きているのか分ち合うことにも意味がある。月報で紹介するのも意味がある。

信徒の皆様が何を目的に生きているのか。信徒の使徒職について考えるのも大事な事。司教様も信徒の使徒職についてお話をされている。

コーヒーショップのような少数の話し合いから広げていくのがよいと思われる。

いろいろなことで迷っていらっしやる方が大勢いらっしやる。様々な問題に的確に答えていく必要もある。

テーマを決めて語る会を何回か設けてはどうか。

名簿に載っていてもミサに参加できない方に対するアプローチも大切。

新しい信徒が既存の組織に入りづらい雰囲気改善していく必要がある。

福音と生活がどうつながっているのか考えていく1年にできればよい。

それぞれの方の話を冊子にまとめ、ミサ前の3〜5分を使った霊的読書をするのも手として考えられる。

活動に入りたい方が足を踏み出せる場づくりとしかけを工夫していくことが大事。

お茶を用意して、話を聞く会にも意味がある。

神父様と話したいと思っている方は多い。

信徒同士の声かけはとても大事。教会の方々が兄弟、家族としての意識をもてるようにしたい。

2 城東ブロックの集い(南山教会担当)の取り組みについて

2月に引き続き内容を検討した。

信徒のどなたかに基調提案をしていただき、その後、福音を生活にどう結びつけているのか分ち合う方向で具体案を詰める。

3 営繕委員会(仮称)の発足について

酒井さん、池田さんに委員就任を要請した。教会のお知らせで委員参加希望を募りたい。納骨堂設

置検討についても営繕委員会に関するしていただく。

4 こども部屋の現状と問題点、サポートについて

参加人数が少ない。活動をどう広げていくかいろいろ考えたい。

名古屋は転勤で入ってくる方の多い土地なので、各地の教会にも存在を知らせる文書を配布することも考慮中。

広げることも大事だが、会自体が続いていることに意味がある。人手が足りない場合は、コー

ヒーショップのような場で声をかけていくと協力を得られることがある。

子ども部屋の先輩を頼ることも可能と思われる。

5 四旬節・復活祭の祭儀・パーティー等の確認

4月23日徹夜祭、24日復活祭、洗礼を受ける方は10名。

パーティーは、クリスマスに行つたような持ち寄り形式で行う。

6 2011年度信者全体集会開催について

6月19日、マリア館ホールにて開催する。座席配置については、様々な考えがあり、後日検討

する。
7 その他
葬儀のしおりは、信者が参列する場合に必要なのではないかとのご意見があった。

緊急車両が聖堂玄関まで入れない状況がある。駐車について通路をふさがないように呼びかけをする必要がある。

ボーイスカウトが救急法講習会を開催予定。信者の方もご参加ください。AED講習会も含んでいます。5月8日13時から16時。現在、教会にはAEDがない。購入の必要があるのではないかと。

ボーイスカウトを手伝ってくださっているトントン神学生の助祭叙階式が、3月12日10時から神言神学院にて行われる。

各会報告
典礼委員会
2月13日典礼委員会
2月20日堅信式
3月9日灰の水曜日

7時と19時にミサ

3月9日以降は四旬節のため、主日の教会の祈りはお休み。土曜日14時10分日曜日9時10分から十

字架の道行き祈り

3月20日子どもミサ

3月21日名古屋教区典礼研修会

3月27日黙想会

マリア会

聖堂掃除用に掃除機購入。機種は
ダイソン。

英語ミサ

英語ミサがあることを知らない方が
いらつしやる。壁に掲示をす
る。

青年会

引き続き、ニコ師とともに聖書を
読み、分かち合う。3〜4名が集
まる見込み。人数は少ないが、こ
れからも地道に活動を続けていく
ということに参加者の意見が一
致。

手話の会

3月13日1年の反省会実施予
定。

ボーイスカウト

ボーイスカウトから運営委員会に
出席する次期委員は玉田恭彦さ
ん。

新年度第一回委員会は4月3日

愛と苦しみ (その25)

人間の癒しの源であるキリストの受難と復活

B・ノヴァク神父

7.3 ペトロの愛の告白と裏切り

「友のために自分の命を捨てる
こと、これ以上に大きな愛はな
い。」ヨハ 15・13

イエスのそばに3年間暮らし、

イエスの教えを聞き、行いを見
て、色々な体験をすることによつ
て、ペトロは随分変わりました。最
後の晩餐の最中、イエスは裏切ら
れ、苦しめられ、殺されると話し
たとき、ペトロは以前のようにこ
の言葉に反対したのではなく、イ
エスと共に牢屋に入ってもいい、
殺されてもいいと言いながら、イ



エスのために苦しみを受ける覚
悟、さらに命を失う覚悟をしてい
ると宣言しました。こうして、ペ
トロは最も偉大な愛、自分の利益
ではなく、相手の善を求める愛、
相手との関わりがもたらすあらゆる
結果を受け入れる覚悟をしてい
る、忠実な愛を告白したわけ
です。

この愛の告白は、本当にペトロ
の心の中から流れて、それによつ
てペトロは正直に自分の気持ちを
表わしたということを疑う余地が
ないと思います。けれども、数時
間後に、この気持ちはペトロの心
の現状を正しく表わしていません
たということが明らかにになりまし
た。危険に直面したとき、イエス
の弟子であるがゆえに、苦しめら
れる恐れ、もしかして、命を奪わ
れる恐れを感じたペトロはイエス
の仲間であるという事実を否定し
て、その場から、と同時にイエス
のもとから逃げてしまいました。
自分の命をイエスにささげたいと
心から求めた。ペトロは自分の宣言
と自分の望みに逆らって、自分の

命を守ることを選びました。この
体験によってペトロは、イエスが
前から分かっていたこと、つまり
ペトロの愛がまだ十分に成熟して
いないため、ペトロがまだ自分の
心の望みに従って生きることがで
きないということがはっきりと分
かりました。

ペトロのイエスに対する愛の告
白は、嘘ではありませんでした。
また、仲間の前で格好をつけるた
めのもでもありませんでした。
ペトロが完全な愛を告白したの
は、自分自身のこと、特に自分の
限界をまだ知らなかったゆえに、
自分の望みと心の現状を区別する
ことができなかったからです。

参照…ルカ 22・31・34、マタ
26・69・75

7.4 愛の完成

「はつきり言っておく。あなた
は、若いときは、自分で帯を締
めて、行きたいところへ行つて
いた。しかし、年をとると、両
手を伸ばして、他の人に帯を締
められ、行きたくないところへ
連れて行かれる。」ヨハ 21・18

苦しみを避けるためにイエスの
仲間ではないと誓うことによつて

ペトロはイエスに対する自分の愛の限界、または、イエスに忠実に生き、最後まで従うために力がないということを感じ、ペト

ロは、イエスのように生きようと望んでも、それがまだ無理なことでしたし、イエスが行ったところへ行くことができません

ので、ペトロにとってイエスのそばに居ることは喜びになるほど、イエスと共にずっと居たいと望むほどイエスを愛していても、イエスのために苦しみを

受け入れるほど、命を含めてすべてを失うほど愛していません

という事実を実感しました。自分の愛の弱さを知ったペトロは、

自分に対してがっかりし、イエスの模範に見習って、イエスの教えに基づいて生きようという

努力、またはその望みも諦めて、イエスと出会う前の仕事、つまり自信をもってできると

思ったことにもどりました。幸いに、イエスはペトロを諦め

ませんでした。イエスはペトロの口のことを、ペトロが自分自身

のことを知っていたよりも、良く知っていました。ペトロの愛はまだ完全ではないが、ペトロ

が心から完全な愛を求めているという

ことを知っていました。そして、ペトロが自分の現状を認めてから、

イエスの力を頼りにして、イエスに従うならば、彼の愛が成長し、完成されると

いうことも知っていました。そのため

にこそ、復活したイエスはペトロのところに来て、愛について三回尋ねました。

イエスの質問とペトロの答えの意味を正しく理解するため

に、福音が元々書かれたギリシア語のテキストを参考に

する必要があります。原文には愛を表す二つの違う単語が使われて

います。一つはアガペ、もう一つはフィリアという言葉です。

アガペは、イエスが十字架の上で表わした愛、ペトロが最後の晩餐の席で告白した愛、つまり相手の善を自分の都合や望みよりも大事にし、相手のために自分の命を奉獻する、完全な愛のことです。フィリアは、イエスに対して

ヨハネ・パウロ二世教皇の思い出

パパ様来日の想い出 なき父の涙

MARIA MAG まどか康代

カトリックの一家ではなかった大正ロマンの家族父母に大切に育てられ、大学院生の頃に、

東京でローマ法王様をお迎えする列に加えて頂きました。

まわりはフィーバーでした。我が家では、テレビ(日テレ?)の徳光?アナウンサーが訪日中のパパ様を紹介している実況

を、父と母と私とで、何というのでしようか目を見張るよう

に食い入るように包まれるようにおこたで見えていました。ハッと

気づくと、父の目から涙があふ

き、このポーランドからの天涯孤独の道を選んだヨハネパウロ二世教皇様とのひとときとも一度は亡くなる二週間程前、手術後家族に再会してお食事を共にしたひとときでした。飲みの涙をパパ様との想い出の内

に教わる事ができ

ました。

わたくしの一生の

思い出をここに

記す吉き日を

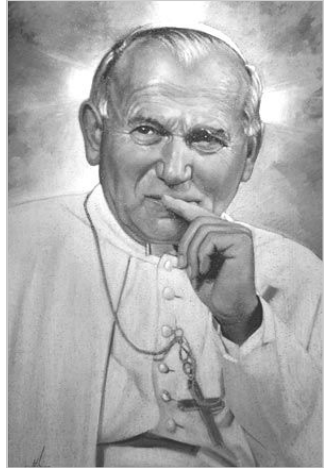
あ

り

が

と

う



(つづき)

南山教会の信徒の皆様から、ヨハネ・パウロ二世に関する思い出を募集しています。ご賛同下さる方は800文字程度 of 原稿にまとめて、司祭か教会事務所へ提出して下さい。





9時半ミサ後の聖歌練習
 9時半のミサ後、聖歌隊の方々と一緒に聖歌の練習を行っています。讃美歌集に載っている歌にも取り組んでいますので、皆様どうぞご参加ください。

四旬節の黙想会

テーマ：「洗礼の恵みを想起する」 指導司祭：市瀬 英昭神父（神言修道会日本管区管区長）

プログラム

3月26日（土）

14:00 十字架道行の祈り
 14:20 共同回心式
 14:30 ミサ
 ミサ後休憩（10分程）
 第1講話

3月27日（日）

9:00 十字架道行の祈り
 9:20 共同回心式
 9:30 ミサ
 ミサ後休憩（10分程）
 第2講話

1329 **主の晩さん**と呼ばれるのは、受難の前夜にキリストが弟子たちとともになさった晩さんを再現すると同時に、天上のエルサレムで行われる小羊の婚宴に前もってあずかるものだからです。

カトリック教会のカテキズムより

パンを裂くことといわれるのは、ユダヤ人の会食に固有なこの儀式を、イエスが、食卓の主人としてパンを祝福して配られたとき、とくに最後の晩さんのときに用いられたからです。復活後の弟子たちはまさにこの動作を見てキリストを認識することになりますし、初代教会の信者たちは自分たちのエウカリスチアの集いをこの表現を用いて呼ぶようになるのです。そうすることによって、裂かれたただ一つのパンであるキリストを食べる人々は皆、キリストとの交わりに入り、キリストと結ばれたただ一つのからだを形づくるようになったことを表現するのです。

エウカリスチアの集い(シュナクシス)と呼ばれるのは、エウカリスチアは教会を見える形で表す信者の集いで行われるからです。

1330 キリストの受難と復活の記念祭。

聖なるいけにえと呼ばれるのは、救い主キリストの唯一のいけにえを現在化し、教会のささげものを包み込むものだからです。**ミサの聖なるいけにえ**、「**賛美のいけにえ**」（ヘブライ13・15）、**霊的いけにえ**、**清い聖なるささげもの**とも呼ばれますが、それは旧約のあらゆるいけにえを完成し、それを超越するものだからです。

神聖なる典礼と呼ばれるのは、教会のすべての典礼の中心であり、それぞれの典礼が表現しようとしている中身がこの秘跡の挙行の中でもっとも密度の高い形で表現されている、ということが分かるからです。同じ意味で、**聖なる神秘**の祝祭とも呼ばれます。また、**いと聖なる秘跡**とも呼ばれますが、それは秘跡中の秘跡だからです。聖櫃に納められた聖なるホスチアに対しては、この名称が用いられます。

南山句会

平成二十三年二月



蠟梅の咲きて天へのレクイエム

初硯心ひきしめ和歌一首

病む人の握手強かり寒椿

裸木もまなこ凝らせば芽吹きけり

大根を寒ざらししてあさげかな

山茶花や緋月照らす庭の隅

母の手のまろく小さな針供養

寒風やビルの彼方に山望む

冴え返るこうのとり遥か夢のせて

義子 とく子 せつ子 みつ子 紀子 佐知子 洋子 瑞子 幸男

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館一階集会室

信者の消息

転入

ようこそ

クラ 中村 かよ子 (主税町)

転出

いつまでもお元気で

ベルテッタ 佐藤 祐子 (長浦)
モヅ 小木曾 貢 (彦根)

帰天

ご冥福をお祈りいたします

クラ 南 ゆみ (70歳)
ベルトル 中島 正治 (84歳)
ルチア 澁谷 久美子 (74歳)



カトリック南山教会のホームページへようこそ！

南山教会のホームページで

- なんざん月報 (PDF形式)
- 毎週のお知らせ
- 主日の御言葉
- お祝いの写真や動画
などを見ることが出来ます。

どうぞご利用ください！

<http://nanzankyokai.net>

2011年3月・4月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
3月	聖ヨセフの月 9(水)灰の水曜日 (大斎小斎) 13(日)四旬節第一主日	13(日)洗礼志願式 26(土)～27(日) 南山教会四旬節黙 想会・共同回心式	4(金)マリア会例会(懇談会) 6(日)運営委員会 13(日)教会学校卒業式 13(日)ヨセフ会班長会 19(土)10:30子ども部屋 19(土)要約筆記付きミサ 20(日)典礼委員会	17(木)司祭協議会 27(日)正義と平和「炊 き出しバザー」
4月	21(木)聖木曜日(主の晩 餐) 22(金)聖金曜日(主の受 難・大斎・小斎) 23(土)聖土曜日 24(日)復活の主日	23(土)19:00復活の徹夜 祭・洗礼式 24(日)9:30日英合同ミサ 復活祭パーティ	1(金)マリア会例会(懇談会) 3(日)運営委員会 10(日)教会学校始業式 16(土)10:30子ども部屋 16(土)要約筆記付きミサ 17(日)典礼委員会 17(日)ヨセフ会班長会	10(日)信徒協委員総会 21(木)聖香油ミサ 29(金)宣司評総会